

日本混相流学会 会員殿

日 本 混 相 流 学 会
会 長 有 富 正 憲

「日本混相流学会 正式ロゴマーク決定のお知らせ」

日本混相流学会では、これまで正式ロゴマークが存在せず、今後の学会誌やホームページだけではなく、国内外の主催共催協賛学会の案内などにおいて、正式ロゴマークの設定が必要でした。そこで、2004年3月発行の混相流 Vol. 18, No. 3 の会告にてご案内した通り、日本混相流学会ロゴマーク選定WG(委員長、 静岡大学齋藤隆之先生、幹事、筑波大学文字秀明先生)を立ち上げ、ロゴマークを、広く一般公募しました。その結果、合計8件の応募があり、今日までWGにおける議論、および、理事会での議論を重ねてまいりました。平成16年12月18日(土)開催の2004年度第3回理事会にて、次の通り、日本混相流学会の正式ロゴマークを決定しました。

ロゴマークデザイナー

北海道札幌市在住 金子典子 様



ロゴマークのイメージ

中心の丸い形は固体を、そこから出る滑らかな線は液体を、外枠の点は気体を表現しています。異なる相が交わり、未来に向かって新しいエネルギーが発生する様子をイメージしています。